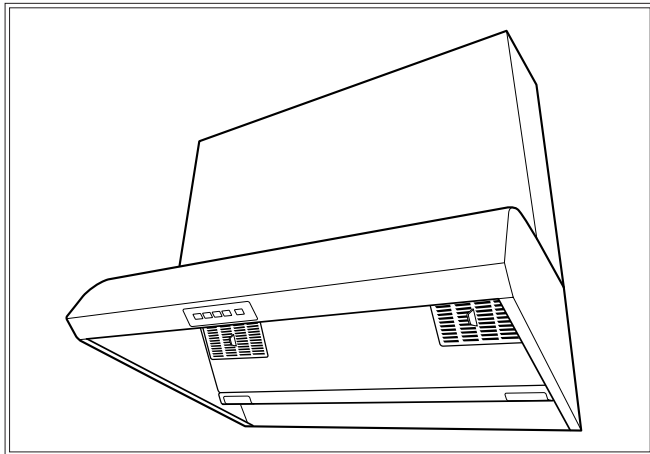


ヤマハ レンジフード C(サイクロン)フードⅢシリーズ 取扱説明書



■シリーズ品番一覧(イラストは幅900標準タイプ)

タイプ	幅900	幅750
標準	CFA901SANM	CFA751SANM
扉面材	CFA901SAMK	CFA751SAMK
T	CFA901SATT	—
同時給排気	CFA901SADK	CFA751SADK

●このたびは、ヤマハレンジフード「C(サイクロン)フードⅢシリーズ」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、安全にお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は、弊社システムキッチンの取扱説明書に記載のものと兼用です。
レンジフードのみ購入されますと、別途保証書が同封されています。
- レンジフードは専用調理機器(ガスコンロ・IHクッキングヒーター)と連動運転ができます。
専用調理機器については弊社までお問合せください。
- この商品は、家庭での使用を基準にしたものです。業務用でのご使用は避けてください。

もくじ

ご使用前に

1. 安全のために必ずお守りください 1
2. ご使用上のお願い 5
3. 各部とシリーズのなまえ 6

毎日のご使用に

4. 本体操作スイッチのご使用方法 7

永くご使用いただくために

5. 点検・お手入れ方法 9
6. 故障かなと思ったら 16
7. 製品の標準使用期間について 18
8. 仕様 18
9. 保証とアフターサービス 19
10. 廃棄処分する場合 19

1. 安全のために必ずお守りください

警告表示と注意表示について

◎ここでは、製品の安全に関する重要な内容を記載しています。

人への危害・財産の損害を未然に防ぐため、記載内容を必ずお守りください。

◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

◎表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される危険・損害の程度」をいう。

◎お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

ご使用の前に点検をしてください



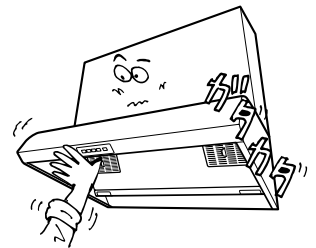
警告

レンジフードは確実に固定されているか確かめる



しっかり固定されていないと、レンジフードが落下してけがをするおそれがあります。

がたつき等がありましたら、ただちにお求めの販売店へご連絡ください。

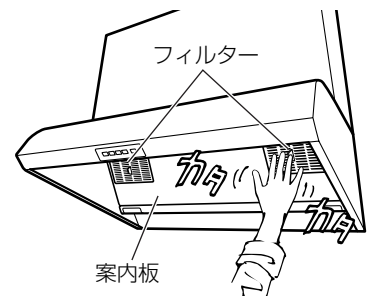


フィルターや案内板は確実に固定されているか確かめる



しっかり固定されていないと、フィルターや案内板が外れけがをするおそれがあります。

※固定方法は フィルター：11ページ
案内板：13ページ
をご覧ください。



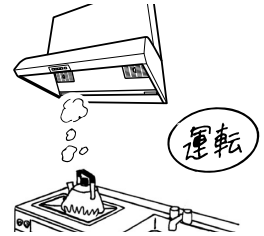
ご使用時は必ずお守りください

警告

コンロ・オーブン等ガス機器使用時は必ずレンジフードを運転する



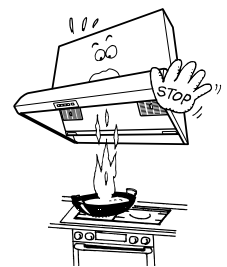
酸欠や一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
また熱による故障の原因になります。
IHクッキングヒーター等、電気コンロ・オーブン使用時も
故障対策の為にレンジフードを運転してください。



調理中、油に火がついたときは運転を止める



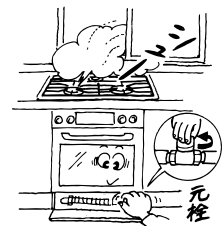
火の勢いが強まり、やけどや火災のおそれがあります。



ガス漏れのと看、レンジフード・リモコンの操作スイッチを入/切しない



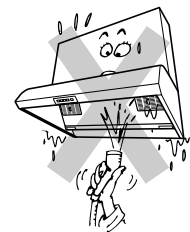
入/切時の火花が引火してガス爆発の原因になります。窓を
開けるなどして換気してください。



レンジフードに水や洗剤をかけない



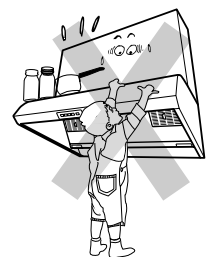
感電のおそれや機器の破損、および、火災の危険性がありま
す。



**レンジフードの上に物を置いたり、ぶら下がったりし
ない**



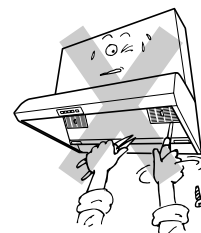
レンジフードが変形したり、上の物やレンジフード自体が落
下して、故障やけがをするおそれがあります。



修理技術者以外の人には絶対に分解・修理・改造しない



発火・感電したり、異常動作したりしてけがをする
おそれがあります。



1. 安全のために必ずお守りください(つづき)

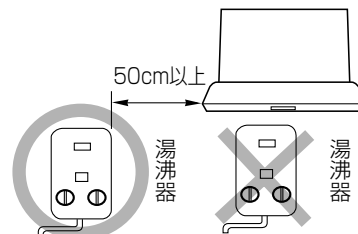
ご使用時は必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意



湯沸器はレンジフードから50cm以上離す

製品の損傷や高熱による故障の原因となります。
ガス湯沸器周辺は高温になるので50cm以上離してください。湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けしないでください。



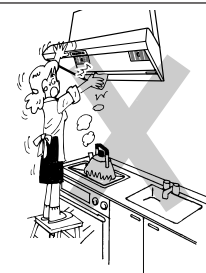
調理機器の空焚きは絶対にしない

製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



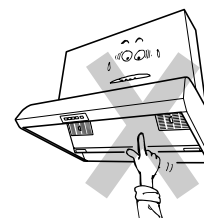
コンロで加熱中は絶対にお手入れをしない

やけどの原因になります。



運転中、指や物を絶対に入れない

けがや故障の原因となります。



訪問販売についての注意

⚠ 注意

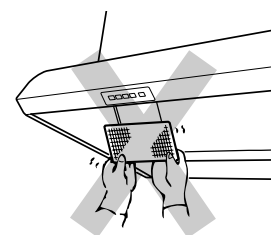


訪問販売されているフィルターや市販品は、使用しない

換気性能の低下や、引火するおそれがあります。

※弊社では、フィルター等の取り替えについては、お客様のご依頼によって行なっており、事前連絡なしに訪問販売をすることは一切ありません。

弊社の名前を騙ったり、関連性を強調したりしてフィルター等を販売する訪問販売業者については、弊社とは全く関係ありませんので、十分ご注意ください。



点検・お手入れ時は必ずお守りください

警告



長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る

絶縁劣化による感電や火災の原因になります。



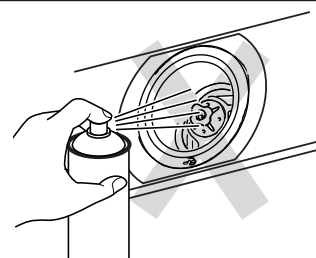
レンジフードを点検・お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る

けがや感電のおそれがあります。



電気部品(モーター・スイッチ等)に、水や洗剤・薬品をかけない

機器の故障や感電のおそれがあります。

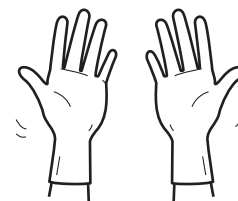


注意



お手入れの際は、必ずゴム手袋をする

端面や角でけがをするおそれがあります。



フィルターを食器洗い乾燥機で洗わない

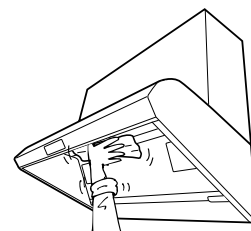
フィルターの塗装を傷めるおそれがあります。

2. ご使用上のお願い

末永くお使いいただくためにお守りください

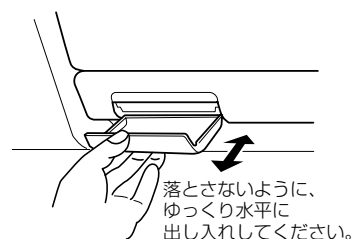
レンジフード表面が結露した場合は拭き取って使用してください。

IHクッキングヒーターと合わせて使用する際、キッチンの気温が低いときに使用された場合や大量のお湯を沸かし続けた場合に、レンジフード表面が結露することがあります。



オイルトレイにたまった油や水は、あふれる前に捨ててください。

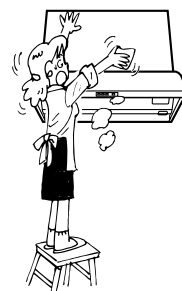
オイルトレイには、調理による油やレンジフード内部で結露した水滴がたまります。特に、冬場やIHクッキングヒーターをご使用の場合は結露しやすいため、オイルトレイのお手入れをこまめに行なってください。
「オイルトレイのお手入れ」10ページをご覧ください。



前幕板の表面に結露(水滴)が多量に発生する場合は、水滴が垂れる前に拭き取ってください。

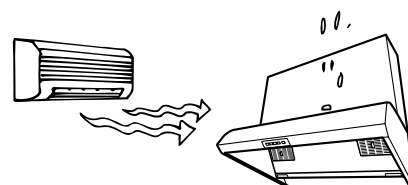
同時給排気タイプの場合、前幕板の給気穴より外気を取り入れることができます。

外気温度が低く、キッチンの湿度が高い場合、前幕板の表面が結露することがあります。



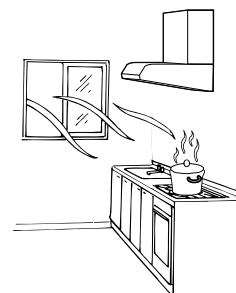
エアコンや扇風機などの風をあてないでください。

風があたると、煙を吸い取る性能が悪くなる原因になります。IHクッキングヒーターをご使用の場合やオープンキッチンの場合は、その性能が弱くなりやすいので、直接風を当てないようにしてください。



レンジフードの運転中は給気をしてください。

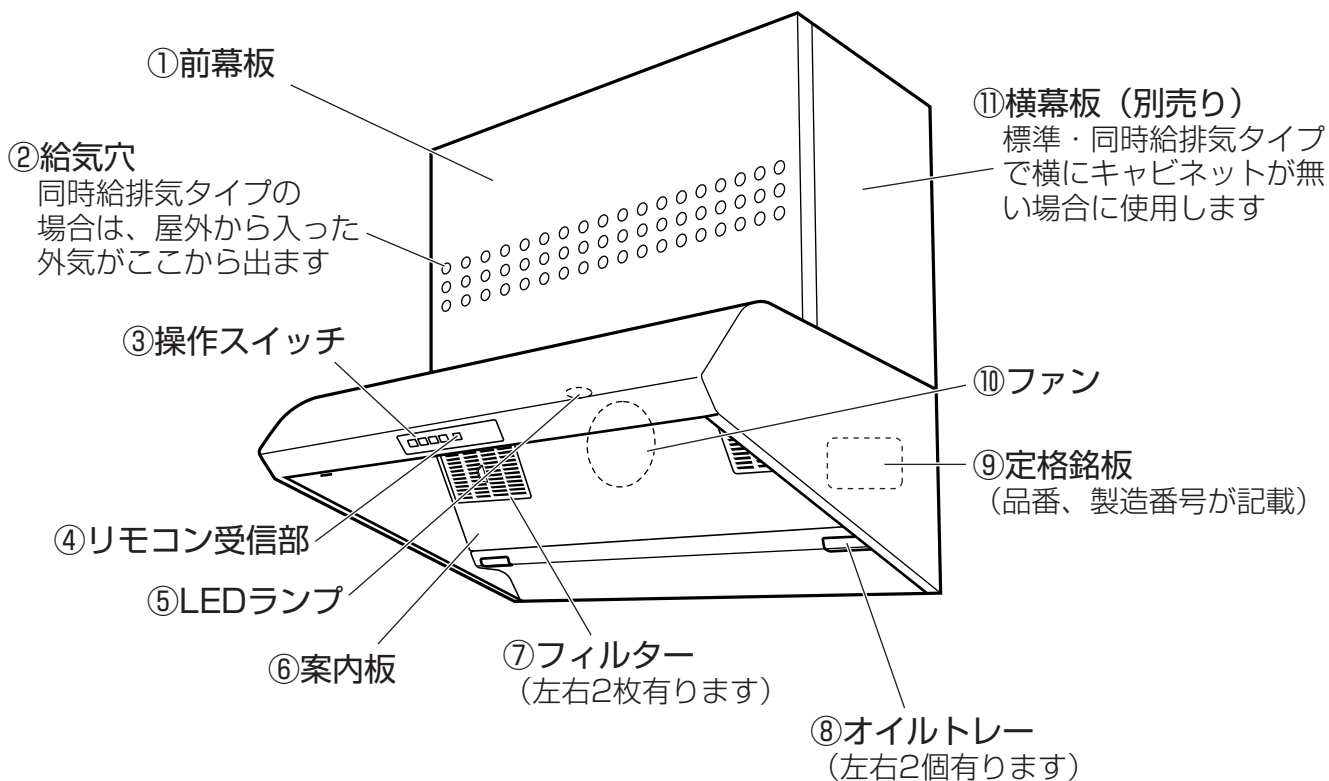
空気の取り入れが不十分だと換気性能が低下する原因になります。レンジフードの反対側の壁に空気の取り入れ口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。



3. 各部とシリーズのなまえ

同時給排気タイプの例

(シリーズにより本体の部品の配置が異なります)



※イラストは幅900同時給排気タイプモデルを示します。

シリーズのなまえ

標準タイプ		扉面材タイプ		Tタイプ		同時給排気タイプ	
幅	品番	幅	品番	幅	品番	幅	品番
900	CFA901SANM	900	CFA901SAMK	900	CFA901SATT	900	CFA901SADK
750	CFA751SANM	750	CFA751SAMK	750	—	750	CFA751SADK

4. 本体操作スイッチのご使用方法

スイッチ操作のしかた

◎本操作スイッチは凹凸の無いタッチスイッチ式となっています。

The diagram shows a control panel with the following components and callouts:

- ①照明スイッチ**
 - 押すと照明が点灯します。
 - スイッチを押すごとに点灯／消灯を繰り返します。
- ②タイマー表示ランプ**
 - タイマーが作動していると点灯します。
- ③運転表示ランプ**
 - 「運転」スイッチを押すごとに、弱→中→強の順に点灯します。
- ④赤外線受信部**
 - 別売のリモコンや連動タイプの調理機器からの赤外線を受信します。
- ⑤切スイッチ**
 - 押すと運転を停止します。
 - ※照明は消えません。
 - 3秒間長押しすると「切」以外のスイッチをロックします。
 - ※照明は消えます。
- ⑥タイマースイッチ**
 - 選択時間運転後、自動的に運転を停止します。
 - スイッチを押すごとに3分→10分→切の順に切り替わります。
 - ※照明は消えません。
 - ※別売のリモコンでも同様の操作を行なえます。
- ⑦運転スイッチ**
 - 押すと運転を開始します。
 - スイッチを押すごとに、弱→中→強の順に切り替わります。
 - ※初期設定を変更可能です。【次ページ参照】
- 風量の目安**
 - 強…煙の多い時。早く換気したい時。
 - 中…通常の運転時。
 - 弱…煙の少ない時。静かに運転したい時。

【操作スイッチ】

便利な機能

■切り忘れ防止タイマー機能

このレンジフードには切り忘れ防止のため、最後に操作したときから約5時間運転し続けると、自動的に運転を停止し消灯する機能があります。再び運転するときは、「運転」スイッチを押してください。

■スイッチのロック機能

- 「切」スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」音が鳴り、スイッチがロックされます。ファンは停止し、照明も消灯します。この状態で、「切」以外のスイッチを押しても警告音「ピピッ」が鳴り、ファン・照明は作動しません。（操作機能全てが「切」状態になります）
※リモコンや専用調理機器との連動操作も受け付けません。
- ロック解除には、もう一度「ピー」と音がするまで「切」スイッチを約3秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて、「照明」、「運転」スイッチを再操作してください。
※停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックが解除されます。

運転風量とタイマー運転時間の初期設定の変更方法

◎工場出荷時の初期設定として、運転風量は「弱」、タイマー運転時間は「3分」が設定され、「運転」スイッチ及び「タイマー」スイッチを押すと上記設定で動作開始します。

■初期設定を変更する方法

1. 「切」スイッチを押し、運転を停止させます。
2. 「タイマー」スイッチを長押し(5秒間)します。
3. 運転表示ランプ・タイマー表示ランプが点滅したら、「運転」スイッチを押しご希望の風量(弱・中・強)を、タイマースイッチを押しご希望の時間(3分・10分)を選択します。
4. 「切」スイッチを押し、終了します(選択された設定が保存されます)。
 - ※「タイマー」スイッチを長押しした後、60秒経過した場合には自動的に終了します。
この場合には前の設定のまま終了します。
 - ※停電した場合やブレーカーを切った場合は、工場出荷時の初期設定に戻ります。

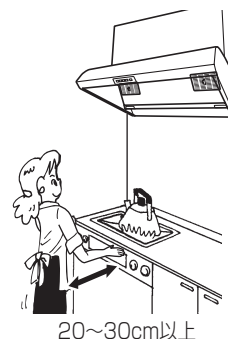
レンジフード連動タイプ専用調理機器との組合せ

◎本レンジフードは連動機能付の調理機器(IHクッキングヒーター・ガスコンロ)と連動します。弊社ラインナップ以外の調理機器では連動しませんのでご注意ください。

お願い

調理機器の操作は、カウンターから20~30cm離れ、正面に立って行なってください。

フード連動は、調理機器からの赤外線信号を直接または人に反射させて作動します。赤外線がうまく反射しなかったり赤外線の送受信がさえぎられると、連動しない原因になります。詳しくは「故障かなと思ったら」16ページをご確認ください。連動しにくい場合は、レンジフード本体のスイッチまたはフード専用リモコン(別売)で操作してください。



20~30cm以上

便利な機能

■自動運転機能

専用調理機器を着火(運転)すると、レンジフードも自動的に運転を開始する機能です。このとき、初期設定風量が「弱」または「中」の場合には「中」で、「強」の場合には「強」で運転を開始します。工場出荷時の初期設定は「弱」のため、そのまま使用される場合、自動運転は「中」で開始します。この自動運転中も、風量の切り替え・運転の停止・照明の点灯/消灯を行なうことができます。

※照明は自動点灯しません。

■自動停止機能

専用調理機器を消火(停止)すると、レンジフードも自動的に運転を停止する機能です。レンジフードは、設定時間(工場出荷時の設定は3分)運転し、その後停止します。

※照明は自動消灯しません。

■調理機器からのレンジフード操作機能

専用調理機器の操作パネルでもレンジフードの運転、停止、照明点灯/消灯などが行なえます。詳細については専用調理機器の取扱説明書をご覧ください。

5. 点検・お手入れ方法

点検・お手入れにあたって

⚠ 警告



レンジフードを点検・お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る

けがや感電のおそれがあります。



お手入れの際に取り外したフィルター・案内板等は、確実に取り付ける

落下して、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意



お手入れの際は、必ずゴム手袋をする

端面や角でけがをするおそれがあります。



ファンが回転しているときには、指や物を絶対に入れない

けがをするおそれがあります。

お願い

お手入れの際は必ず台所用洗剤(中性)を使用し、有機溶剤や酸・アルカリ性洗剤(弱酸性・弱アルカリ性含む)は使用しないでください。

レンジフードが変色・変質する原因になります。

●有機溶剤

シンナー、ガソリン、アルコール、アセトンなど。

●酸・アルカリ性(弱酸・弱アルカリ性含む)の洗剤

トイレ・タイル用洗剤、サビ・カビ取り剤など。



指定のお手入れ方法・手順に従って、お手入れしてください。

レンジフードが傷み、故障の原因になります。

→「お手入れのしかた」9～15ページ

硬いスポンジやブラシ、磨き粉等は使用しないでください。

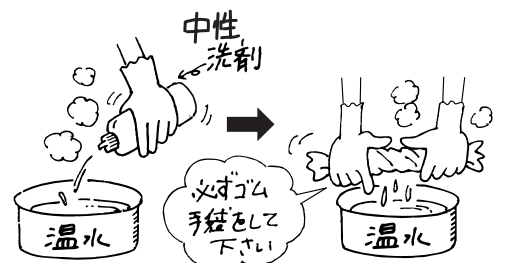
レンジフード表面やオイルトレイにキズがつきます。

本体外観部のお手入れ

◎本体外観部に油の付着、汚れ等があった場合にお手入れしてください。

お手入れの手順

1. めるま湯でうすめた台所用洗剤(中性)を柔らかい布やスポンジに含ませ、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
2. 洗剤が残らないようにしっかり水拭きし、完全に乾燥させます。



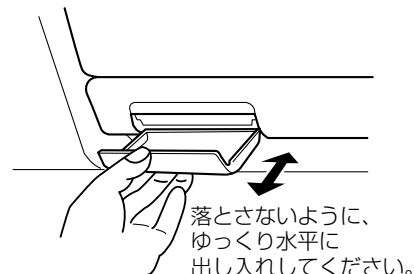
オイルトレイのお手入れ

◎月1回程度オイルトレイを確認し、油がトレイの半分以上たまる前にお手入れしてください。

※ご使用状況によっては、半年以上油がたまらない場合もあります。

お手入れの手順

1. オイルトレイを、ゆっくり水平に引き出します。



お願い

オイルトレイ取り付け部から落ちる油を受けるようにしてください。

オイルトレイを外している間に、本体から油が落ちる場合があります。

2. 油を捨て、トレイに残った油を柔らかい布やスポンジで拭き取ります。

※油汚れが取れない場合は、ぬるま湯でうすめた台所用洗剤(中性)を柔らかい布やスポンジに含ませ、よく絞ってから拭き取ります。硬いスポンジやブラシでこすると傷がつきますので、使用しないでください。

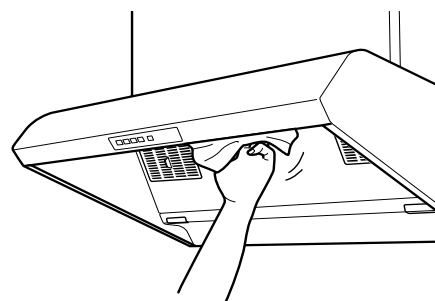
3. 洗剤が残らないようにしっかり水拭きし、完全に乾燥させます。
4. オイルトレイを戻します。

本体前方フラップ部のお手入れ

◎月1回程度、本体前方フラップ部内側を確認してください。

※ご使用状況によっては、半年以上油がたまらない場合もあります。

フラップ部内側に油の付着・汚れ等がある場合は、あふれて滴下する前に柔らかい布で拭き取ってください。



5. 点検・お手入れ方法(つづき)

フィルターのお手入れ

⚠ 注意



調理機器を消火(停止)し、レンジフードを停止してフィルターのお手入れをする

やけどやけがのおそがあります。



フィルターの取り外し、取り付け時は手順を守る

フィルターが落下して、けがをするおそがあります。



必ずゴム手袋をする

フィルターの端部・突部で手を切るおそがあります。



フィルターを食器洗い乾燥機で洗わない

フィルターの塗装を傷めるおそがあります。



訪問販売されているフィルターや市販品は、使用しない

換気性能の低下や、引火するおそがあります。

◎フィルターに油がつきはじめたら、掃除してください。

月2回程度の掃除が清潔を保ちます。

お手入れの手順

1. フィルターを取り外します。

フィルター中央のつまみを持って、水平方向外側に押しなが
ら取り外します。

2. ボウル(またはバット)などに、台所用洗剤(中性)をう すめたぬるま湯(約40℃)を用意します。

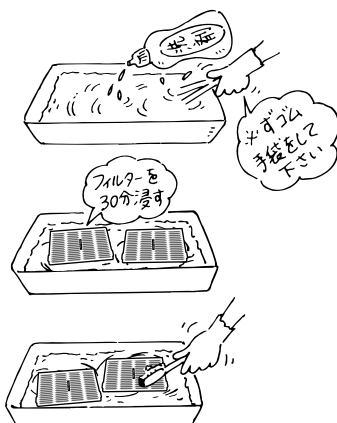
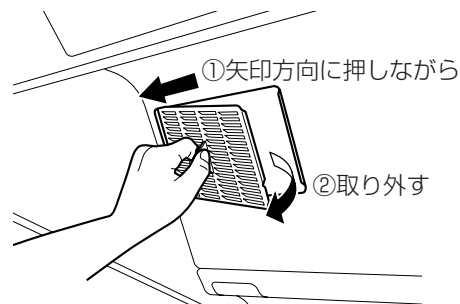
ボウル(またはバット)は、フィルターが平らに置けるサイ
ズにします。

3. フィルターをぬるま湯に30分ひたします。

15分したら裏返し、同様に15分ひたします。

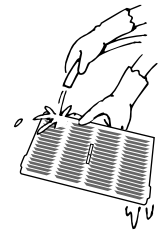
4. ひたしたまま、平らな状態で柔らかいスポンジ、また は毛先の柔らかいブラシ等でフィルターを洗います。

※平らな状態でないと、フィルターが変形するおそがあ
ります。



5. 柔らかいスポンジ、または毛先の柔らかいブラシ等で水洗いをします。

汚れ落ちが不十分な場合は、もう一度最初(手順2)からやり直してください。



6. 完全に乾燥させます。

7. フィルターを取り付けます。

フィルター両側の凸部が下になるように、フィルター中央のつまみを持ちます。

凸部が穴に入るよう、水平方向外側に押しながら取り付けます。



8. つまみを引っ張り、フィルターが外れてこないことを確認します。

お願い

フィルター付近に油汚れが付着した場合には、都度お手入れしてください。

フィルターから油がたれることがあります。異常ではありません。

※お手入れの方法は、本体外観部のお手入れ「9ページ」を参照ください。

5. 点検・お手入れ方法(つづき)

レンジフード内部の点検・お手入れのしかた

◎このレンジフードは、フィルターから内部に入った油はオイルトレイにたまる構造となっています。オイルトレイとフィルターを定期的にお手入れしていただければ、案内板を外しての内部のお手入れは不要です。

※内部に油は付着しますが運転に支障はありません。

⚠ 警告



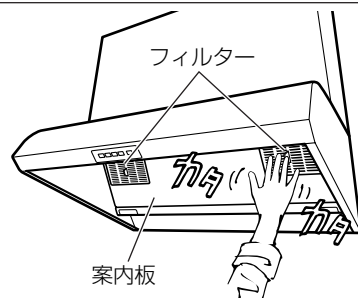
レンジフードを点検・お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る

けがや感電のおそれがあります。



お手入れの際に取り外したフィルター・案内板等は、確実に取り付ける

落下して、けがをするおそれがあります。



電気部品(モーター・スイッチ等)に、水や洗剤・薬品をかけない

機器の故障や感電のおそれがあります。

⚠ 注意



必ずゴム手袋をする

ファンの端部・突部で手を切るおそれがあります。



ファンが回転しているときには、指や物を絶対に入れない

けがをするおそれがあります。

◎このレンジフードは、案内板を外しての内部のお手入れは不要ですが、汚れやにおいが気になる場合は以下の手順に従ってお手入れしてください。

お手入れの手順

1. レンジフードの電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ってください。

2. 左右のフィルターを取り外します。
→「フィルターのお手入れ」 11ページ

3. 案内板を取り外します。

- ①案内板上部のボタン2箇所を同時に押し、案内板が少し開き、ストッパーにより止まります。
- ②手前に少し引き出した後、案内板を下に降ろします。
(案内板が落ちないように手で支えてください。)

4. 内部の点検・お手入れをします。

※案内板を念入りにお手入れする場合には、案内板を両手で持ち2箇所のフックから外してください。

- ①ファンや内部の汚れを確認します。
ファンをお手入れする場合には、次ページ「ファンのお手入れ」をご覧ください。
- ②案内板や内部をお手入れする場合には、ぬるま湯でうすめた台所用洗剤(中性)を柔らかい布やスポンジに含ませ、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- ③洗剤が残らないようにしっかり水拭きし、各部を完全に乾燥させます。

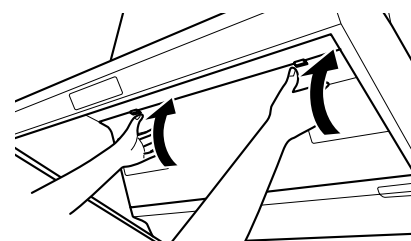
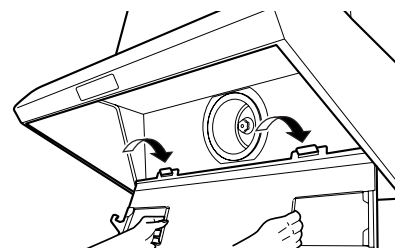
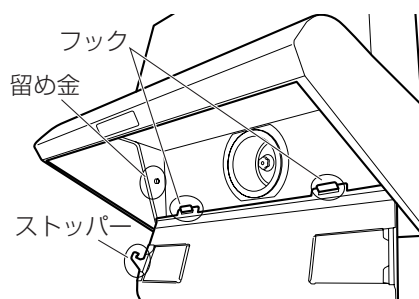
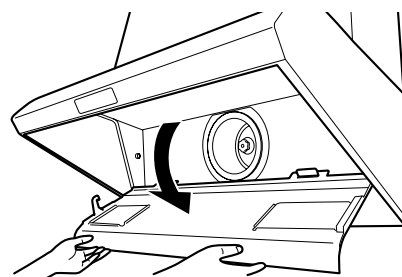
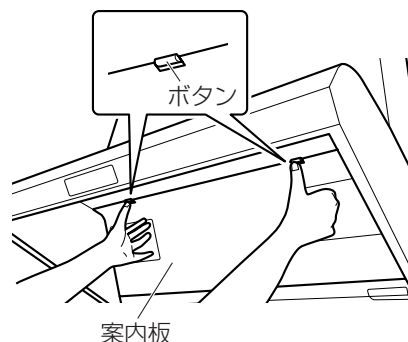
5. 案内板を取り付けます。

- ①案内板を本体側2箇所のフックに引っ掛けます。
- ②案内板を持ち上げ、ストッパーを留め金に引っ掛けます。
- ③「カチッ」と音がするまで上に押し込み、固定します。

6. フィルターを取り付けます。

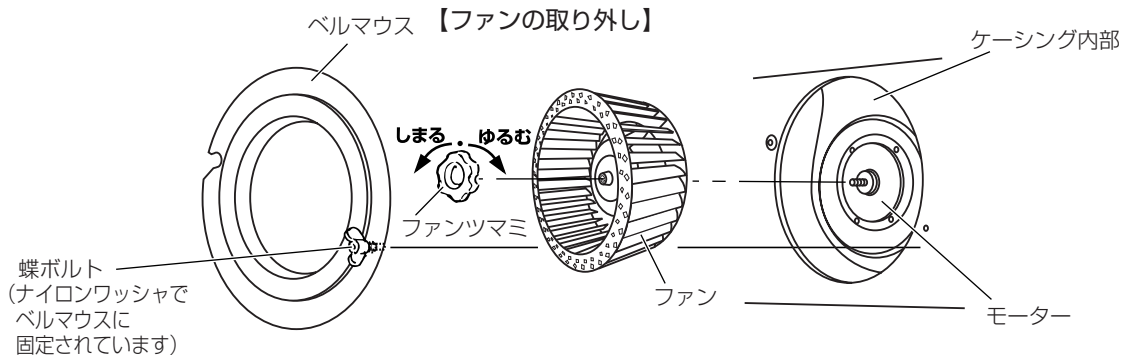
→「フィルターのお手入れ」 11ページ

7. レンジフードの電源プラグをコンセントに差し込む、または分電盤のブレーカーをONにしてください。



5. 点検・お手入れ方法(つづき)

■ファンのお手入れ

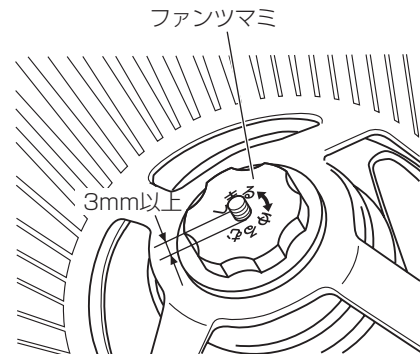


お手入れの手順

1. フィルター・案内板を取り外します。
→「フィルターのお手入れ」 11ページ
→「案内板のお手入れ」 14ページ
2. ベルマウスを取り外します。
蝶ボルトをゆるめ、ベルマウスを取り外します。
3. ファンを取り外します。
ファンを軽く手で押さえ、ファンツマミを「ゆるむ」方向に回し、ファンを外します。
4. お手入れをします。
 - ①台所用洗剤(中性)を入れたぬるま湯(40℃程度)に、ファンを20～30分ひたします。
 - ②柔らかい布やスポンジを使って、汚れを落とします。
 - ③ベルマウスやケーシング内部の汚れが気になる場合には、ぬるま湯でうすめた中性洗剤を柔らかい布やスポンジに含ませよく絞ってから汚れを拭き取ります。
 - ④その後、すべての部品を洗剤が残らないようにしっかり水拭きし、完全に乾燥させます。

5. ファンを取り付けます。

外したときと逆の手順で、ファンを取り付けます。モーターにファンをはめ、ファンツマミを「しめる」方向にまわして、しっかり取り付けます。
※ファンツマミを閉めると、モーターの軸は3mm以上出ます。出が少ない場合は、もう一度しっかりファンをさし直してください。



【正規位置でファンツマミを締め込んだ状態】

6. ベルマウスを取り付けます。

ベルマウスをはめ、蝶ボルトで固定します。

7. フィルター・案内板を取り付けます。

→「フィルターのお手入れ」 11ページ
→「案内板のお手入れ」 14ページ

お願い

ファンを力強くこすらないでください。

変形して排気性能が低下したり、運転中異音が出る原因になります。

ファンを力強く押さえる・ぶつける・落とすなどして、変形させないでください。

異常音や振動の原因になります。

6. 故障かなと思ったら

◎商品に異常が生じたときは次の点をお調べになってから、お買い上げの販売店、または、裏表紙のお客様相談窓口にご相談ください。異常は、故障とは限りません。

症状 / 現象	原因	対処方法
・操作スイッチを押しても、電源が入らない。 ・運転スイッチを押しても、動かない。 ・照明スイッチを押しても、点灯しない。 ・タイマーが入らない。 ・運転を停止できない。	分電盤のブレーカーが「切」になっている。	分電盤のブレーカーを「入」にする。
	スイッチがロック状態になっている。	「切」スイッチを3秒以上押し、ロックを解除する。
	指に、指サックや傷テープ、手袋などをして操作スイッチを押している。	直接指で触れて操作する。
	スイッチが汚れている。	スイッチの汚れを取る。
	スイッチを正しくタッチしていない。 ・端を押している。 ・2つのスイッチを同時に押している。	・スイッチの中央にタッチする。 ・スイッチをひとつずつタッチする。
異常音がする。	ファンのつまみがゆるんでいる。	ファンのつまみを締め直す
	ベルマウスの固定ネジがゆるんでいる。	ベルマウスの固定ネジを締め直す。
	フィルターが汚れている、または、市販のフィルターを重ねている。	フィルターを掃除する、または市販のフィルターを取り外す。
	ダクト配管出口の防虫網・防鳥網が目詰まりしている。	防虫網・防鳥網を掃除し、目詰まりを取除く。
	給気が不足している。	窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
	屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。	修理を依頼する。
吸い込みが悪い。	フィルターが汚れている、または、市販のフィルターを重ねている。	フィルターを掃除する、市販のフィルターを取り外す。
	エアコンや窓からの風があたっている。	風があたらないようにする。
	給気が不足している。	窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
	ダクト配管出口の防虫網・防鳥網が目詰まりしている。	防虫網・防鳥網を掃除し、目詰まりを取除く。
	屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。	修理を依頼する。
使用中にファンの運転音(回転数)が変化する。	風の強い日などに排気抵抗の変化を検知し、マイコン制御で風量調整している。	異常ではありません。そのままご使用ください。
運転音(回転数)が前回と異なる。 例：「中」運転の音が、急に静かになった。	停電または分電盤のブレーカーが切られたため、ファンの回転数が初期値から運転を開始している。	異常ではありません。そのままご使用ください。数分間の連続運転によって、マイコンが適切な風量に調整します。

症状 / 現象	原因	対処方法
調理機器と連動しない。 ※連動タイプの専用調理機器を使用した場合	調理機器の電池が減っている。(ガスコンロの場合)	電池を交換する。
	スイッチがロック状態になっている。 ※調理機器を着火(運転)したとき、「ピピッ」という音がします。	「切」スイッチを3秒以上押し、ロックを解除する。
	調理機器の送信部や本体操作スイッチの「赤外線受信部」が汚れている。	送信部・受信部を掃除し、汚れを取る。
	赤外線信号の送受信が妨げられている。 ・調理機器に近づきすぎていませんか。 ・調理機器から離れすぎていませんか。 ・調理機器の横に立っていませんか。	カウンターから20~30cm離れ、調理機器の正面に立って操作する。
	テレビやエアコンなどのリモコンと同時に操作している。	テレビ・エアコンなどのリモコン操作をいったんやめる。
	赤外線信号が反射しにくい服を着用している。	黒い服やビロード、毛糸の服を着用して操作しない。
	調理機器の送信部や本体操作スイッチの「赤外線受信部」に太陽光があたる、または照明が近すぎる。	太陽光や照明の強い光があたらないようにする。
設定した風量から運転が始まらない。	連動タイプの専用調理機器を使用し、レンジフードの運転を開始している。	風量の設定が「弱」「中」の時は「中」で、「強」のときは「強」で運転を開始します。(→8ページ)
リモコンを操作しても、動かない。 ※別売リモコンを使用した場合	電池が減っている。	電池を交換する。
	電池の向きが間違っている。	電池を正しく入れる。
	リモコンの送信部や本体操作スイッチの「赤外線受信部」が油で汚れている。	送信部・受信部を掃除し、汚れを取る。
	本体の操作スイッチがロック状態になっている。 ※リモコンスイッチを押すと、「ピピッ」という音がします。	本体の「切」スイッチを3秒以上押し、ロックを解除する。

7. 製品の標準使用期間について

◎本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなくこの期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件(下記【設計上の標準使用期間の算定の根拠】参照)のもと、適切な取扱いで使用し適切な維持管理が行なわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間です。製品ごとに設定される(消費生活用製品安全法第32条の3)もので、メーカーの無償保証期間とは異なりますのでご注意ください。

【設計上の標準使用期間の算定の根拠】

本製品の設計上の標準使用期間は、以下の標準的な使用条件を想定して設定されています。

製造年を始期とし、当社において耐久試験等を行ない算出された数値等に基づいて、経年劣化により安全上支障を生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期としております。

【標準的な使用条件】

※日本工業規格JISC9921-2より引用

大項目	中項目	小項目
環境条件	電圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	20℃
	湿度	相対湿度65%
	設置条件	標準設置(取付設置説明書による)
負荷条件		定格負荷
想定時間	1年の使用時間	2,410時間/年

【ご注意ください】

- 本製品を、上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでご使用になった場合には、設計上の標準使用期間よりも早期に、安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- 製品を目的以外の用途で使用したり業務用に使用するなど、上記の標準的な使用条件と異なる環境で使用された場合も、設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますので、このようなご使用はお控えいただくようお願いいたします。

8. 仕様

定格電圧 (V)	運転風量	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量(m ³ /h)	
				OPa	100Pa
100	強	50	37	450	430以上
		60			
	中	50	14	300	-
		60			
	弱	50	7	220	-
		60			

※消費電力、風量の測定はJISC9603による。

※レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

9. 保証とアフターサービス

保証

このレンジフードの保証内容は、保証書を含め、システムキッチンの取扱説明書巻末に記載のものと兼用です。保証期間中(お引渡し日より1年)は、保証の規定に従い修理いたします。

※レンジフードのみご購入の場合は、別途保証書が同封されていますので、そちらをご確認ください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、このレンジフードの機能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後7年間保有しております。販売店からの注文により、供給いたします。

※性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理の際のご連絡先

この取扱説明書をよくお読みの上再度点検していただき、なお異常があるときには、お買い上げの販売店または、裏表紙に記載の修理のご相談窓口までご連絡ください。

修理依頼の際に、ご連絡いただきたい内容

- ご住所 ■お名前 ■電話番号 ■商品名(レンジフード) ■品番(→6ページ) ■お引渡し日
- 故障内容 (何の、どこが、どのようになったか)
- 訪問ご希望日 (ご都合の悪い日もあわせてご連絡ください)

10. 廃棄処分する場合

◎廃棄処分する場合には、許可を受けた業者様にご依頼いただき、適切な廃棄処分、および、リサイクル可能な部材のリサイクルをお願いいたします。

◎廃棄部材の不法投棄等ありました場合は、廃棄依頼者が法律違反で罰せられます。

お客様相談窓口



商品についてのご相談 0120-808194

●受付時間/月曜～金曜 9:00～17:30 (祝日・夏期休業・年末年始を除く)



修理のご相談 0120-119555

●受付時間/月曜～金曜 9:00～17:30 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00 (夏期休業・年末年始を除く)

お電話は、内容確認とサービスの向上等を目的として、保存(録音)させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<http://www.yamaha-living.co.jp>に公表してあります。

ヤマハリビングテック株式会社

〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370

1302-TATORISECFA